

いばらきネットモニター 「茨城をたべよう」の認知度・農林水産物の購入意識についてアンケート

1 調査の概要

(1) 調査形態

調査時期：平成30年12月14日(金)～12月26日(水)まで

調査方法：インターネット（アンケート専用フォームへの入力）による回答

いばらきネットモニター数：427名（県内居住者のみ）

回収率：53.2%（回収数227名）

回答者の属性（百分率表示は、小数点以下第二位を四捨五入しているため、個々の比率の合計は100%にならない場合がある）

		人数（人）	比率（%）
全体		227	100.0
性別	男性	118	52.0
	女性	109	48.0
地域別	県北	24	10.6
	県央	82	36.1
	鹿行	13	5.7
	県南	82	36.1
	県西	26	11.5
年齢	10歳代	0	0
	20歳代	8	3.5
	30歳代	34	15.0
	40歳代	52	22.9
	50歳代	61	26.9
	60歳代	36	15.9
	70歳以上	36	15.9
職業別	自営業	19	8.4
	会社員	67	29.5
	団体職員	7	3.1
	公務員	4	1.8
	主婦・主夫	55	24.2
	学生	4	1.8
	無職	46	20.3
	その他	25	11.0

(2) 調査目的

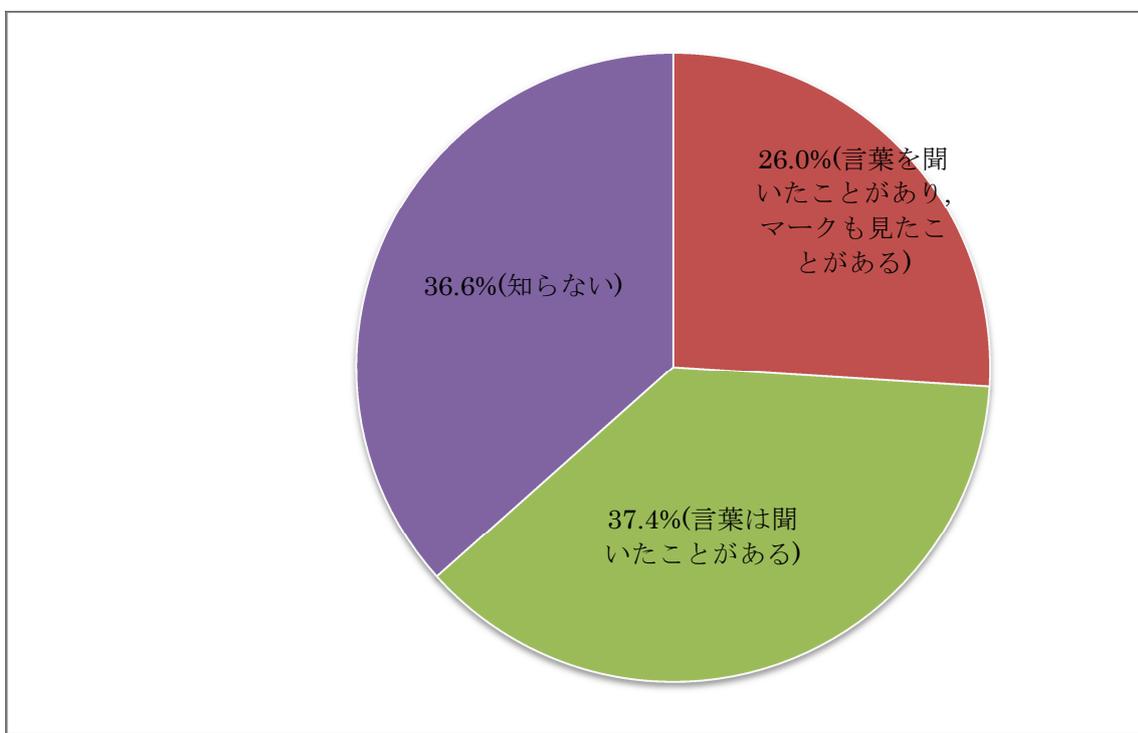
「茨城をたべよう運動」を開始して約6年が経過した時点において、県民の「茨城をたべよう運動」についての認知度及び農林水産物の購入に関する意識を調査し、その結果を分析することにより、今後の取組内容を検討する材料とする。

担当課 茨城県農林水産部農業政策課6次産業化・地産地消グループ

電話:029-301-3894 E-mail:noseisaku4@pref.ibaraki.lg.jp

2 調査結果

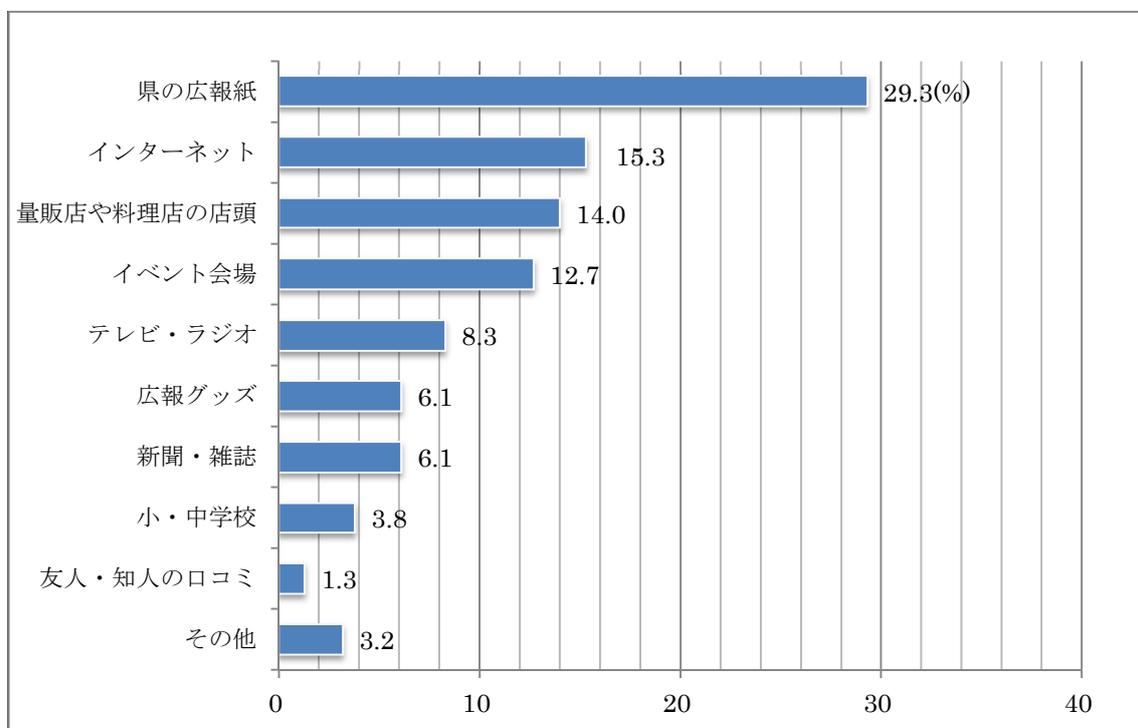
【問1】あなたは、「茨城をたべよう」運動を知っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。



◆「言葉は聞いたことがある」(37.4%)と「言葉を聞いたことがあり、マークも見たことがある」(26.0%)を合わせた「知っている」が全体の6割(63.4%)であったのに対し、「知らない」は3割台半ば(36.6%)であった。全体の半数を超える人々が言葉ないしマークを認知していた。

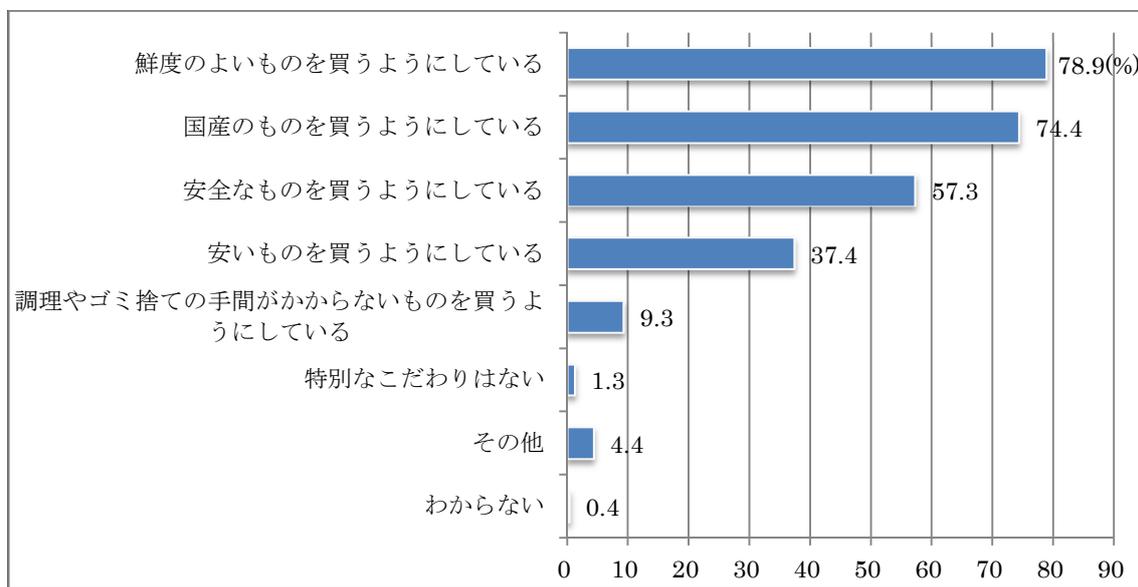
【問2】（問1で言葉ないしマークを知っていると回答した方のみ）

あなたは、「茨城をたべよう」をどこで見たり聞いたりしましたか。あてはまるものをすべて選んでください。（複数選択）



◆「県の広報紙」がもっとも多く（29.3%）、次いで「インターネット」（15.3%）「量販店や料理店の店頭」（14.0%）、「イベント会場」（12.7%）、と続いた。

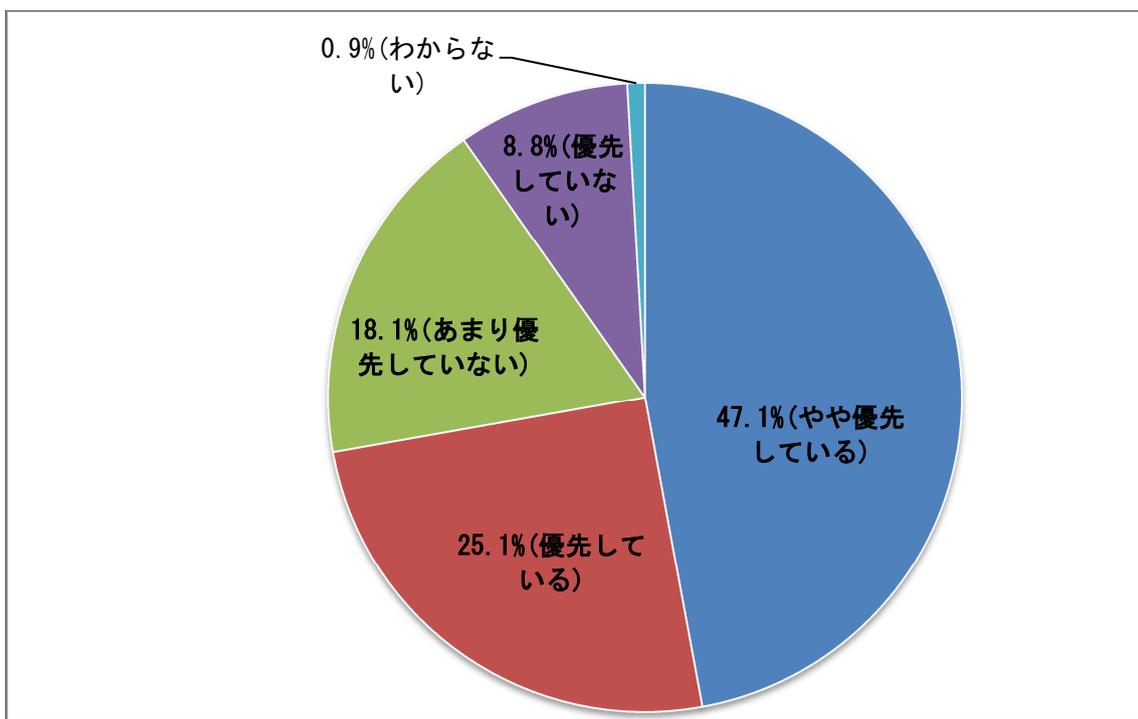
【問3】あなたが農林水産物を購入するときに、気にかけていることは何ですか。次の中から3つまで選んでください。(複数選択)



◆「鮮度のよいものを買うようにしている」がもっとも多く(78.9%),次いで「国産のものを買うようにしている」(74.4%),「安全なものを買うようにしている」(57.3%)と続いた。

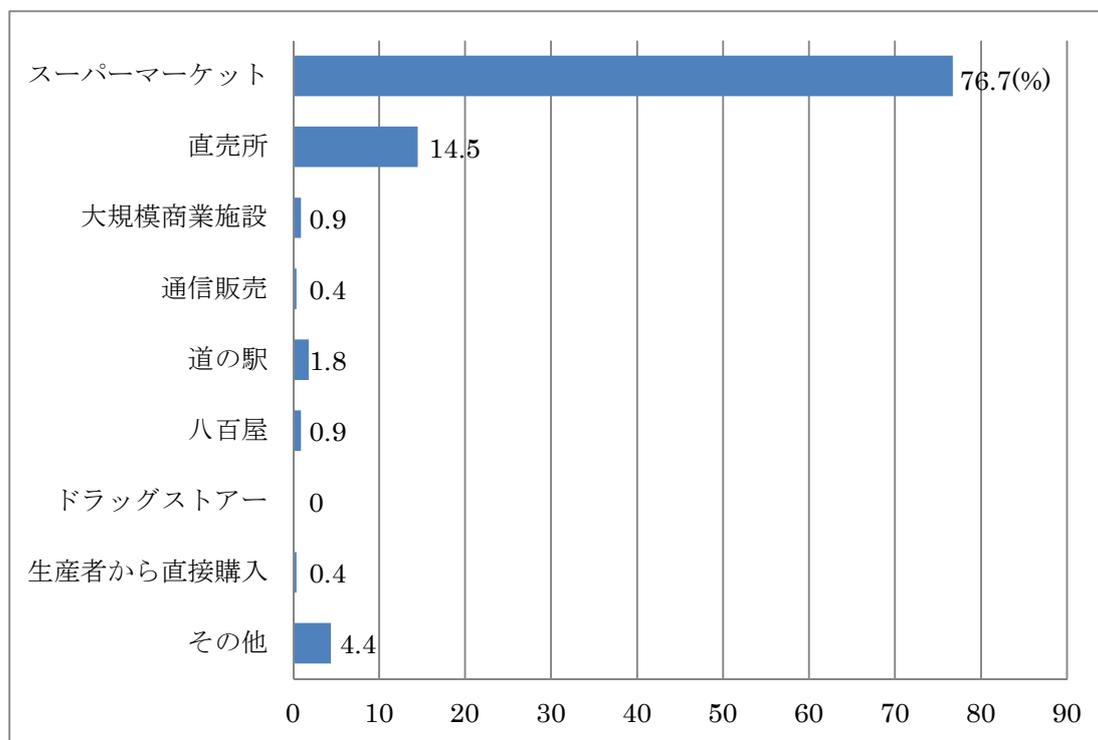
その他の意見として「被災地のものを買うようにしている」等の意見があった。

【問4】あなたは、農林水産物を購入するときに茨城県産を優先して購入していますか。
次の中から1つだけ選んでください。



◆「やや優先している」(47.1%)と「優先している」(25.1%)を合わせた「優先している」との回答は7割を超えた(72.2%)のに対し、「あまり優先していない」(18.1%)と「優先していない」(8.8%)を合わせた「優先していない」との回答は2割半ば(26.9%)の状況であった。また、「わからない」との回答は0.9%であった。

【問5】あなたは、農林水産物を購入するときに、普段どこで購入していますか。次の中から、1つだけ選んでください。



◆「スーパーマーケット」で購入すると回答した人が約7割台半ば（76.7%）と最も多く、「直売所」（14.5%）、や「大規模商業施設」（0.9%）で購入すると回答した人は、少数であった。

その他の意見として「生協の宅配」等の意見があった。